

報道機関各位

資料提供 平成24年 7月 9日
健康推進課 健康危機管理・疾病対策班
電話 018-860-1424
美の国あきたネット掲載 有

麻しん（はしか）患者の発生について

平成24年7月6日、由利本荘市内の医療機関から由利本荘保健所に、麻しん発生の届出がありましたので、お知らせします。

1 届出状況

届出状況は次のとおりです。

- ・年齢：35歳
- ・性別：男性
- ・住所：にかほ市

2 患者状況等

- ・6月28日：発症（発疹）
 - ・7月4日：由利本荘市内の医療機関を受診、麻しんと診断
 - ・7月6日：同医療機関から発生届
 - ・7月9日：健康環境センターでPCR検査を実施
- なお、患者は順調に回復しており、経過は良好です。

3 調査の状況

由利本荘保健所で、患者家族（本人含め4人）及び勤務先の職員等の健康状況を確認した結果、7月9日現在、症状のある者はありません。

○参考

<麻しんの発生状況>

- ・県内における届出件数
平成24年：1件（今回報告分）
平成23年：1件、平成22年：0件、平成21年：0件、平成20年：158件

（裏面に続く）

・全国の発生状況

平成24年：164件（6月27日現在）

平成23年：434件（速報値）、平成22年：447件、平成21年：732件、

平成20年：11,012件

<麻しんについて>

麻しんウイルスによる感染症で、重症化し、入院が必要になる場合もある疾患です。

（1）感染経路：空気感染

（2）潜伏期：10～12日

（3）症状等：麻しんの初期症状は発熱、咳、鼻水などかぜと似ています。

患者は、発病1～2日前（発疹出現の3～5日前）から発疹出現後4～5日後まで、他の人に感染させることがあると言われています。

感染力が非常に強いのが特徴で、発症者と同じ部屋にいただけで感染することがあります。

（4）治療法：対症療法（脱水症状への輸液投与、呼吸機能管理等）

<県民の皆様へ>

・麻しんは、肺炎や脳炎等を合併し、重篤な後遺症を残したり、死亡することもある病気です。発熱や発疹など、気になる症状が現れた場合には、早めに医療機関を受診してください。

・麻しんには特別な治療方法がありませんが、予防接種により免疫力を高めて予防することができます。

・定期予防接種対象者は早めに予防接種を受けるようにしましょう（詳細はお住まいの市町村にお問い合わせください）。

※定期接種の対象年齢は次のとおりです。

第1期：1歳児

第2期：5～6歳児（小学校就学前の1年間）

第3期：中学1年生に相当する年齢の方（平成20年度～24年度までの5年間）

第4期：高校3年生に相当する年齢の方（平成20年度～24年度までの5年間）

・定期の対象でない方も接種可能ですので、麻しんに罹ったことのない方、2回の予防接種を実施していない方は、医療機関に相談してください。